



Title	彙報（1971年11月～1972年9月の研究活動）
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学学報. 1973, 28, p. 497-504
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/80496
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

彙 報

(1971年11月～1972年9月の研究活動)

I 本期間中に学報のほかに、次の研究誌が発行された。

『中国語学論集』(中国語学科研究室, 1972年3月31日)

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| 1. 魯迅と語文運動(その二)——普通話・大衆語と魯迅—— | 伊地智 善 継 |
| 2. 中国語品詞分類の変遷過程——その底流にあるもの—— | 鳥 井 克 之 |
| 3. 主語・賓語論争 現代漢語の語法学的研究(第三期における論争) | 芦 田 茂 幸 |
| 4. ローマ字正書法における「単語」概念の変遷 | 宮 田 一 郎 |
| 5. 量詞について | 原 田 松三郎 |
| 6. <走了進來>について | 大河内 康 憲 |
| 7. 副詞分類の原理について(付・資料表) | 伊地智 善 継 |

『THE REEDS 13』(英語学科研究室, 1972年7月)

- | | |
|---|---------|
| 1. A Study of the Texture of Rhyme in Five-Line Verse | 本 多 平八郎 |
| 2. Hiroshima 1945 (1) | 正 木 恒 夫 |
| 3. Three Short Short Stories | 好 田 実 |
| 4. To My Little Sons | 上 野 義 和 |
| 5. The Waste Land | 田 川 弘 雄 |
| 6. Cigarette | 片 山 忠 雄 |

『SPRACHE UND KULTUR 7 牧祥三教授記念号』(ドイツ語学科研究室, 1972年2月25日)

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| 1. 弁証法の系譜における A. Müller の「対立論」の位置について | 牧 祥 三 |
| 2. ナチス文化政策の曲り角(その1) | 布 施 俊 夫 |
| 3. 商店広告のドイツ語の一面——スローガンを中心に—— | 乙 政 潤 |
| 4. 文学と社会——日本のゲルマニストの問題点 | 八 木 浩 |
| 5. トーマス・マンの現代性とその評価をめぐって | 友 田 舜 三 |
| 6. カフカ「城」の Raum と Zeit | 吉 田 眸 |
| 7. 悲劇「ダントンの死」 | 丸 山 珪 一 |
| 8. ニーチェと言葉 | 山 本 博 志 |
| 9. 東ドイツにおけるドイツ・ファシズム研究の一動向 | 栗 原 優 |
| 10. EECにおける西ドイツ農業の地位——基礎資料整理 | 村 田 武 |

『études françaises 10』(畠中敏郎教授退官記念号)

(大阪外国語大学フランス研究会, 1972年3月25日)

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 1. 《Carmen》に用いられたスペイン語のことなど | 中 原 俊 夫 |
| 2. 名詞構文と日本語 | 松 井 三 郎 |
| 3. Fontenelle の劇作品における娘たち | 赤 木 富美子 |
| 4. Proudhon と2月革命(1) | 黒 木 義 典 |
| 5. プルーストにおける自我の観念 | 原 田 武 |
| 6. ヴァレリーの時間意識 | 岩 間 正 邦 |
| 7. シモーヌ・ヴェイユと南仏文明 | 田 辺 保 |
| 8. 沖縄の切支丹の復活(承前)——ルテュルデュ神父の書翰 | 畠 中 敏 郎 |

『Estudios Hispánicos 2』（イスパニア語学科研究室，1972年3月25日）

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1. Acusativo Personal (1) | 中 岡 省 治 |
| 2. 「西語らしさ」の音形的側面について | 出 口 厚 実 |
| 3. 「マルティン・フィエロ」の邦訳と若干の問題点 | 吉 田 秀太郎 |
| 4. カルメン・ラフオレー：人と作品 | 森 本 久 夫 |
| 5. 戦後イスパニア国の株式会社法改正 | 山 崎 俊 夫 |

『ロシア・ソビエト研究 第7号』（ロシア語学科研究室，1972年3月30日）

- | | |
|---|---------|
| 1. トルストイの「神的なものと人間的なもの」について | 高 橋 輝 正 |
| 2. スタニスラフスキー・システム考察
——『紅旗』の「システム」批判に関連して—— | 奥 村 剋 三 |
| 3. 一肢文と不完全二肢文の境界区分について | 植 村 進 |
| 4. 経済史学の方法——ソビエト経済史研究のばあい—— | 小 野 堅 |
| 5. （資料）ソフホーズおよびその他の国営農業企業の完全経済
計算制への移行について | 岡 本 武 訳 |
| 6. （随想）旅行記 絹の道の社会主義 | 武 藤 洋 二 |

『評林』IX（長谷川信好教授定年退官記念号）（大阪外国語大学 法経学会，1972年3月15日）

- | | |
|--|---------|
| 1. 鑑真和上と隠元禪師 | 外 山 軍 治 |
| 2. ズデーテン問題の一考察 | 廣 實 源太郎 |
| 3. 登記の推定力に関する一考察 | 貝 田 守 |
| 4. 日米経済関係の一考察 | 梅 津 和 郎 |
| 5. 1870年代と近代経済学——近代経済学成立期に関する覚書 | 澤 村 榮 治 |
| 6. 大阪の工業構造の高度化と下請制工業 | 山 本 順 一 |
| 7. 海と生物 | 世古口 雄 三 |
| 8. M. Arnold の “Function of Criticism” | 上 山 政 義 |
| 9. 高温曝露時の生理的諸反応に対する運動訓練の影響について | 辻 忠 |

『評林』X（大阪外国語大学 法経学会，1972年7月20日）

- | | |
|---|---------|
| 1. 増修互註禮部韻略の反切について | 辻 本 春 彦 |
| 2. M. Arnold の批評精神——L. Trilling の論説を中心として—— | 上 山 政 義 |
| 3. 日本経済の国際化と中小輸出工業 | 山 本 順 一 |
| 4. 「目的制限肯定説」と政治献金——是認論の吟味—— | 竹 田 壽 紀 |

『日本語・日本文化』第3号（山本みち教授退官記念特集号）

（大阪外国語大学留学生別科研究室，1972年3月）

- | | |
|---|---------|
| 1. 山本みち先生の退官にさいして | 吉 田 弥寿夫 |
| 2. 退官にさいして | 山 本 み ち |
| 3. 大阪外国語大学留学生別科掌裏有情 | 山 崎 俊 夫 |
| 4. 「接続」と深層構造 | 細 野 万紀子 |
| 5. 生成文法の近年の動向——日本語研究の立場から | 寺 村 秀 夫 |
| 6. 日本語の格的表現における諸問題 I | 山 口 幸 二 |
| 7. 『坊っちゃん』における推量表現
——「う」・「よう」とそのスペイン語訳 | 大 倉 美和子 |
| 8. 紅葉「疊字訓」のうちとそと | 玉 村 文 郎 |

9. 二人称代名詞としての「きみ」	須 田 悦 生
10. 俳句とは何か——現代俳句中心に	松 岡 満 夫
11. 「新・仏英戦争」と日本語教育	杉 山 毅
12. 場所を示す場合の格助詞「に」と「で」をめぐる	新 井 栄 蔵
13. 研究ノートⅡ「ようだ」による表現	西 出 郁 代
14. 「ことだ」と「のだ」——形式名詞と準体助詞（その二）	佐 治 圭 三

Ⅱ 本学所属教官の著書、訳書（Aと略記）、雑誌掲載論文（Bと略記）および口頭研究発表（Cと略記）は次の通りである。なお、これは1972年9月30日現在、回答をよせられたものの掲載で、他に未収録の研究があるものと思われる。

〔中国語学科〕

伊地智 善 継

A1. 総合中国語入門	東方書店	1972. 5. 1
B1. 副詞分類の原理について	中国語学論集	1972. 3. 31
2. 魯迅の語文運動（その二） —普通話・大衆語と魯迅—	中国語学論集	1972. 3. 31
3. 中国語の発展	言語生活（筑摩書房）	1972. 6. 1

大河内 康 憲

B1. <走了進來>について	中国語学論集	1972. 3. 31
C1. 米国の中国語教育	中国語学会関西例会	1972. 4. 6
2. 主語とそれにかかわる問題	日本語教育研修会	1972. 8. 19
3. 語法形式についての反省	1972年度中国語学会全国大会	1972. 9. 29

〔朝鮮語学科〕

金 思 燁

A1. 朝鮮文学史	北望社	1971. 12.
2. 朝鮮のこころ（現代新書）	講談社	1972. 9.

〔モンゴル語学科〕

橋 本 勝

B1. 元朝秘史蒙古語研究の若干の問題点	『アジア・アフリカ文法研究』 Vol.1.1 東京外国語大学アジア ・アフリカ言語文化研究所	1972. 8. 31
----------------------	--	-------------

〔インドネシア語学科〕

中 西 龍 雄

A1. 図解インドネシア語会話	海文堂	1972. 8. 10
-----------------	-----	-------------

〔インド・パキスタン語学科〕

溝 上 富 夫

B1. パウル・ハッカー「現代ヒンディー語における若干の助語詞の機能について」上（訳註）	大阪外大学報 第26号	1972. 1. 25
2. シャラトチャンドラ「ヒンドゥーの子」（翻訳）	インド文学 第6号	1972. 6

C1. 現代ベンガル語におけるアラビア語・ペルシア語の要素について	日本印度学仏教学会第23回学術大会 於同朋大学	1972. 8. 27
〔タイ語学科〕		
コーサ・アリア		
A1. Sonthanaa Phhsaa Jiipùn	バンコックにて	1971. 11. 24
2. タイ語入門	丸善	1971. 12. 5
3. 日タイ小辞典	丸善	1971. 12. 5
4. タイ語会話	丸善	1972. 2. 14
5. タイ日辞典	丸善	1972. 5. 12
6. タイ語入門カセットテープ	丸善	1972. 6.
〔ビルマ語学科〕		
原 田 正 春		
B1. ヤンアウン論	大阪外大学報 第27号	1972. 1. 25
2. Japan Wuthu Thamaing Akyin (明治20～28年代における代表的作品概要)	月刊誌 Thway Thaut	1971.11 ～1972.9
3. ビルマ語の形式(ビルマ語による)	ラングーン文理科大学ビルマ文学部会誌 Myan Sa Gon	1972. 9
大 野 徹		
A1. 東南アジア各国の権力構造(1) 「ビルマの政治指導者」	総理府	1972. 3
2. アジアを見る眼(43)「ビルマの社会と経済」	アジア経済研究所	1972. 7
B1. バガン・ピンヤ・インワ時代のビルマの社会	東南アジア研究 9巻3号	1971. 12
2. コンバウン時代のビルマの神判	東南アジア研究 10巻1号	1972. 6
3. 東南アジアの旅「ベールをはいだビルマ」	世界文化社	1972. 8
4. アラウンパヤー王家の祖霊祭祀	鹿児島大学史録 第5号	1972. 9
〔英語学科〕		
大 井 浩 二		
A1. 西欧におけるアメリカ像—日本人から見て	斉藤真・シグムント・スカード編『世界におけるアメリカ像』(南雲堂刊)	1972. 5. 10
B1. アメリカ神話の問題点—フレノー, タイラー, アーヴィングの場合	『きやりばん』8号	1971. 12. 20
2. アメリカ作家のゴシック的世界—元田脩一氏の新著を読んで—	『不死鳥』34号	1972. 5. 20
田 川 弘 雄		
A1. 英語のクイズ	創元社	1972. 4. 1
B1. The Waste Land (堀 辰雄: 曠野の翻訳)	The Reed 13	1972. 7
好 田 実		
B1. 状態を表わす stand up	英語青年 第117巻第12号	1972. 3. 1
2. Three Short Short Story of Yasunari Kawabata (「弱き器」「火に行く彼女」「鰯と出産」の翻訳)	The Reed 13	1972. 7

森 岡 孝 二		
B1. 世界企業と現代の世界恐慌（共同研究）	「経済」第95号（1972年3月号）	1972. 3
2. 世界企業とヨーロッパ共同体（共同研究）	「経済」第100号（1972年8月号）	1972. 8
池 上 日出夫		
A1. M. Twain: King Leopold's Soliloquy（テキスト編注）	青山書店	1972. 2
2. グェン・ゴック「不敗の村」（翻訳）	新日本出版社	1972. 8
B1. 「キレンズについての簡単なノート」	「黒人研究」No.42	1971. 12
2. 「批判的リアリスト＝マーク・トウェーン」	「愛知大学英文会誌」No.2	1971. 12
C1. 「J. ボールドウィン「アナザ・カントリ」再考」	黒人研究の会、例会	1972. 5
2. 「歴史と文学—W. スタイロン「ナット・ターナーの告白」をめぐって」	黒人研究の会シンポジウム	1972. 9
〔ドイツ語学科〕		
八 木 浩		
B1. 文学と社会—日本のゲルマニストの問題点—	Sprache und Kultur 7	1972. 2. 25
2. 1960年ごろの社会主義演劇と P. Hacks	ドイツ文学 48	1972. 4. 1
乙 政 潤		
A1. カセット 生きた中級ドイツ語（共著、独習書）	文林書院	1971. 11. 25
2. Übungen im praktischen Gebrauch der dt. Sprache（教科書）	文林書院	1971. 11. 25
3. ランゲージ・ラボラトリー、機構、方法、授業（翻訳）	南江堂	1972. 6. 1
B1. 日本におけるドイツ文法の歴史（そのうち「品詞の分類を中心に」）	ドイツ文学論攷 XIII S.21—42（28—33）	1971. 12. 25
2. 商業広告ドイツ語の一面—スローガンを中心に—	Sprache und Kultur 7	1972. 2. 25
3. Hinweise auf das Problem der “nominalen Fügung” und der “Ausklammerung”	ドイツ文学 48 S. 69—77	1972. 3. 31
C1. LLにおける口頭練習と絵	語学ラボラトリー学会・昭和47年度全国大会・大学ドイツ語部会	1972. 7. 22
布 施 俊 夫		
B1. ナチス文化政策の曲り角（その1）	Sprache und Kultur 7	1972. 2. 25
井 上 純 一		
A1. H.マルクーゼ著「文化と社会」（共訳）	セリカ書房	1972. 3. 15
〔デンマーク語学科〕		
菅 原 邦 城		
B1. デンマーク語関係代名詞の史的考察	大阪外大学報 第26号	1972. 1. 25
I. ルーン碑文における関係詞 es, æs, æR, ær		
2. 蛇舌ゲンラウグの物語(1)	大阪外大学報 第27号	1972. 1. 25
〔フランス語学科〕		
岩 間 正 邦		
B1. ヴァレリーの時間意識	études françaises 10	1972. 3. 25

〔イスパニア語学科〕

山 崎 俊 夫

- | | | |
|---|-----------------------|-------------|
| B1. Administradores y Comenditarios: Sobre Tres Clases Regulares Formativas de Compañías Mercantiles—Análisis estructural de Código español de Comercio comparando con el argentino | 大阪外大学報 第28号 | 1972. |
| 2. 戦後イスパニア国の株式会社法改正 (訳) | Estudios Hispánicos 2 | 1972. 3. 25 |

中 岡 省 治

- | | | |
|----------------------------|-----------------------|-------------|
| B1. Acusativo Personal (1) | Estudios Hispánicos 2 | 1972. 3. 25 |
|----------------------------|-----------------------|-------------|

三 原 幸 久

- | | | |
|---------------------------|-------|-------------|
| A1. ラテンアメリカの昔話 (民俗民芸双書67) | 岩崎美術社 | 1972. 1. 30 |
|---------------------------|-------|-------------|

出 口 厚 実

- | | | |
|----------------------|-----------------------|-------------|
| B1. スペイン語人称目的格と代名詞化 | 大阪外大学報第26号 | 1972. 1. 25 |
| 2. 「西語らしさ」の音形的側面について | Estudios Hispánicos 2 | 1972. 3. 25 |

〔ロシア語学科〕

小 野 堅

- | | | |
|----------------------------|----------------|-------------|
| B1. 経済史学の方法—ソビエト経済史研究のばあい— | ロシア・ソビエト研究 第7号 | 1972. 3. 30 |
|----------------------------|----------------|-------------|

法 橋 和 彦

- | | | |
|--|------------------|-----------------|
| A1. 「富嶽百景」の美学(批評と研究「太宰治」所収) | 芳賀書店 | 1972. 4. 20 |
| B1. 「トルストイ全集」月報「日本におけるトルストイ」連載20回のうち(1)(2)(3)(4) | 河出書房新社 | 1972. 5月
~9月 |
| 2. 初期トルストイにおける《сomoлюбие》用語法の諸問題 | ロシア語ロシア文学研究 | 1971. 10. 1 |
| C1. トルストイと日本昔噺ひとつ | 日本ロシア文学会関西支部春季総会 | 1972. 6. 11 |
| 2. レーニンとロシアにおける文化革命 | ソビエト文学研究会関西支部例会 | 1972. 6. 3 |

〔哲 学〕

大 谷 長

- | | | |
|-------------------------|-----|-------------|
| A1. キエルケゴールの遺稿 大谷長訳編 婚約 | 創言社 | 1972. 9. 30 |
|-------------------------|-----|-------------|

大 峯 顕

- | | | |
|-------------------|---------|------------|
| B1. 最近のドイツ哲学界について | 「理想」8月号 | 1972. 8. 1 |
|-------------------|---------|------------|

〔言 語 学〕

崎 山 理

- | | | |
|---|-------------|-------------------------------|
| A1. アンドレ・マルティネ編「近代言語学大系」第1巻, 第3巻 (共訳・解説) | 紀伊国屋書店 | (1971. 11. 30
1972. 9. 20) |
| 2. 「世界文化大百科事典」第5~10巻(「マライ・ポリネシア語族」「タガログ語」など約20項目) | 世界文化社 | 1971.11.21
~1972.9.21 |
| B1. インドネシア語の二重主語文—Gadjah belainja pandjang— | 大阪外大学報 第26号 | 1972. 1. 25 |

2. インドネシア語の-i, -kan について—M・P語の比較言語学的考察	アジア・アフリカ文法研究第1号	1972. 8. 31
C1. インドネシアにおける二種の二重主語文	第3回インドネシア学会, 於京都産大	1972. 12. 4
2. インドネシア語の特徴—日本語との類似点・相違点—	於海外技術者研修協会関西研修センター	1972. 3. 31
3. インドネシアのことばと文化	於大阪外大 大阪外大第3回市民講座	1972. 8. 12

〔歴史学〕

外山 軍治		
B1. 張即之の書, 趙孟頫の書(解説)	書道芸術第七巻(中央公論社)	1972. 1. 25
2. 玄妙観重脩三門記	〃	〃
3. 仇鏐墓碑銘稿	〃	〃
4. 漢汲黯伝	〃	〃
5. 趙孟頫漢汲黯伝跋	書道芸術第八巻(中央公論社)	1972. 3. 25
6. 項元汴墓誌銘稿	〃	〃
7. 麓山寺碑	書道芸術第五巻(中央公論社)	1972. 5. 25
8. 郎官石記	〃	〃
9. 自言帖	〃	〃
10. 鑑真和上と隠元禪師	評林 IX	1972. 3. 15
廣 實 源太郎		
B1. オーストリア三月革命について—その研究史をふりかえって—	史林 54巻5号	1971. 11. 1

〔法学〕

貝 田 守		
B1. 登記と事実上の推定	法律時報46年11月号	1971. 11. 1
2. 登記の推定力に関する一考察	評林 IX	1972. 3. 15

〔経済学〕

澤 村 榮治		
B1. 1870年代と近代経済学—近代経済学成立期に関する覚書	評林 IX	1972. 3. 15

〔生物学〕

世古口 雄三		
B1. 海と生物	評林 IX	1972. 3. 15

〔留学生別科〕

吉 田 弥寿夫		
A1. 文語と口語(「国語シリーズ別冊I」日本語と日本語教育—語彙編—)	文化庁	1972. 8. 25
B1. 昭和世代・作品と批評	「短歌」46年11月号(角川書店)	1971. 11
2. 塚本邦雄著「夕暮の諧調」評	「短歌」46年12月号(角川書店)	1972. 12

3. 今日の作家シリーズ1 武川忠一への提言	「短歌」47年3月号(角川書店)	1972. 3
4. 文体と表現構造	「現代短歌'72」(現代短歌委員会)	1972. 4. 15
寺村秀夫		
A. An Introduction to the Structure of Japanese (Workbook) (第1分冊)	三友社	1972. 5
B1. 「‘タ’の意味と機能—アスペクト, テンス, ムードの構文的位置づけ—」(『言語学と日本語問題』)	くろしお出版	1971.
2. 「語の個性と文法」(『日本語と日本語教育』一語架編一)	文化庁	1972. 8
3. 「生成文法の近年の動向—日本語研究の立場から—」	日本語・日本文化第3号	1972. 3
C1. 「文法と文法教育」	文化庁, 日本語教育初心者研修	1972. 7
2. 「テンス, アスペクト, ヴォイス」	同上	1972. 8
玉村文郎		
A1. 「国語シリーズ別冊1」日本語と日本語教育一語架編一(うち「日本語教育と辞書」の項を分担執筆)	文化庁	1972. 8. 25
B1. 紅葉『暁字訓』のうちとそと	日本語・日本文化第3号	1972. 3. 25
大倉美和子		
B1. 推量表現についての一考察	大阪外大学報第26号	1972. 1. 25
2. 「坊っちゃん」における推量表現—「う」「よう」とそのスペイン語訳	日本語・日本文化第3号	1972. 3. 25
岡田英樹		
B1. 漢文教育批判<その1>	中国文芸研究会季刊雑誌「野草」第7号	1972. 4. 20
C1. 「文芸講話」に見るリアリズム論	中国文芸研究会にて	1972. 8. 2
春名万紀子		
B1. 「接続」と深層構造	日本語・日本文化第3号	1972. 3. 25